

第2回ふくいの教育振興推進会議 議事（概要版）

- 1 日時 平成30年5月31日（木） 13:00～14:30
- 2 場所 福井県庁7階 特別会議室
- 3 概要

- ・英検加点について、県から3つの見直し案を示し、各委員から意見聴取
（案1）2級への15点加点を廃止し、準2級以上に10点、3級に5点を加点
（案2）原則、3級以上に5点を加点。学校によっては、準2級以上に5点を加点
（案3）3級以上に一律5点を加点
- ・会議では、案2を支持する意見が最も多かった。

〔委員からの主な発言〕

○加点の見直しについて

- ・英検加点は、福井県が全国初であり、やっていないことをやるのに意味がある。
- ・大学入試でも、外部試験の枠はそんなに大きくなりたくないだろう。福井県の見直し案の点数は極めて妥当性が高いと思う。
- ・福井の先進的なアイデアは、うまく続けてほしい。案1、案2が妥当だと考える。
- ・英検加点の枠組みからいうと案2が妥当かと思う。2級への加点も続けてはどうか。
- ・3級や準2級の取得率が高まったとの成果が出ており、現在のまま継続することも選択肢の一つではないか。
- ・加点の縮小により、中学校での学び方に影響が出ないか心配を覚える。3級で満足してしまうことがないだろうか。
- ・受験のための英検ではなくて、加点によるきっかけで英語が大好きになる子どもが増えることが大事かと思う。案2を推させてもらう。
- ・英検資料の中で中学生では3級から準2級程度とあり、2級への加点廃止は妥当。
- ・案2では、3級加点とした高校を受験しようとする中学生が、どれだけ準2級を目指そうとするだろうか。学校によっては、案1を選ぶのでもよいのではないか。
- ・意欲があれば、生徒は自ら英検を受けるのだから、3級以上の評価でよい。一律3級に加点する案3を支持する。
- ・案3は、勉強の意欲が無くなるので、避けるべき。
- ・いずれの案でも影響が少ないのであれば、案3でいいと思う。

○その他（英語教育全般に関する意見）

- ・スピーキング力をつけるには、英検と同時に相手に伝えたいという気持ちを育てることが大事である。そのためには、学習環境の中に、他の国の人と話す活動を取り入れることなども考えてほしい。
- ・英語はしよせん道具にすぎないので、英語を話すための基本的な日本語力とか、論理的な思考力とか、そういったものを高めないと意味がない。
- ・大学入試において、英検が取り入れられるのか、他の外部試験が取り入れられるのかを見据えて、考えてもらいたい。
- ・英検などの受験補助について、1回だけでなく、複数回の支援はできないか。